

高齢者の消費生活相談状況(平成18年度)

1 高齢者の相談の多い商品・役務

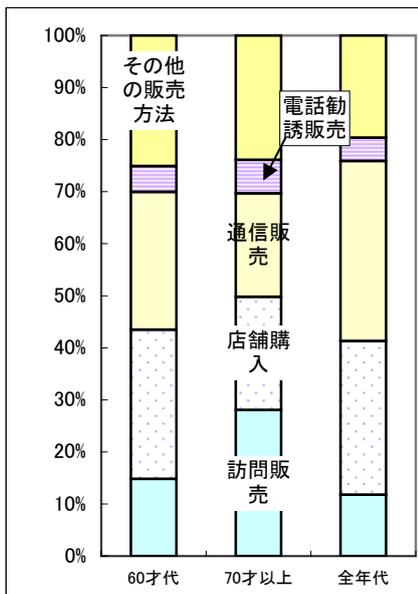
60才以上の高齢者の相談を商品・役務別で見ると、「商品一般」、「フリーローン・サラ金」、「工事・建築」などが多くなっています。

(単位：件数)

60才代			70才以上		
総件数	5,260	割合	総件数	4,784	割合
商品一般	832	15.8%	商品一般	549	11.5%
フリーローン・サラ金	423	8.0%	工事・建築	270	5.6%
工事・建築	290	5.5%	フリーローン・サラ金	204	4.3%
オンライン等関連サービス	268	5.1%	電話サービス	161	3.4%
会社生命保険	126	2.4%	ふとん類	134	2.8%
電話サービス	114	2.2%	オンライン等関連サービス	117	2.4%
不動産賃借	101	1.9%	宝くじ	115	2.4%
株	95	1.8%	株	108	2.3%
修理サービス	82	1.6%	修理サービス	90	1.9%
他の台所用品(浄水器)	67	1.3%	会社生命保険	81	1.7%

2 高齢者の相談の多い販売方法

高齢者は他の年代と比べ、訪問販売に関する相談の割合が高くなっています。訪問販売に関する相談のうち、60才代が779件、70才以上が1,343件であり、60才以上の相談が全体の38.1%を占めています。



販売方法別の高齢者の相談件数

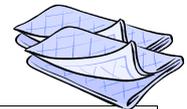
(単位：件数)

	60才以上				全年代
	60才代	70才以上	計	60才以上が占める割合	
電話勧誘販売	260	308	568	26.9%	2,110
通信販売	1,393	951	2,344	14.3%	16,385
店舗購入	1,508	1,039	2,547	18.2%	13,977
訪問販売	779	1,343	2,122	38.1%	5,573
相談件数合計	5,260	4,784	10,044	21.2%	47,339

「工事・建築」、「ふとん類」等の相談では支払い能力を超えたクレジット契約を結ばせ、次々契約をさせる問題のある訪問販売に関する相談もあり、注意が必要です。

高齢者の訪問販売での相談が多い商品 (単位：件数)

	60才以上		全年代
	件数	60才以上が占める割合	
工事・建築	291	55.9%	521
ふとん類	150	63.3%	237
新聞	115	28.3%	406
他の台所用品	99	33.0%	300
株	80	84.2%	95
会社生命保険	66	41.0%	161
家庭用電気治療器具	65	86.7%	75



- 一定の蓄え
- 将来の経済面の不安感をあおる
⇒「株」
「会社生命保険」
- 健康面への不安感をあおる
⇒「ふとん類」
「他の台所用品(浄水器)」
「家庭用電気治療器具」